

ひとくち英会話

【採血室にて:At the Laboratory】

- ❖ I am sorry, I couldn't take enough sample for a blood test.
- 申し訳ありません。少し採血量がたりません。
- ❖ I am afraid, but can I try again?
- 申し訳ありませんが、もう一度採血させてください。
- ❖ May I check the other arm, please?
- 反対側の腕をみせて下せますか。
- ❖ Your blood vessel is a little bit fine. So, it is difficult to draw blood.
- 細い血管で、採血するのはなかなか難しいですね。
- ❖ I will ask another staff for trying again. Please wait a minute.
- 別の人が願いますので、お待ち下さい。
- ❖ If you get sick or have a strong pain, please let me know.
- 気分が悪くなったり、痛みがひどかったら、仰ってくださいね。
- ❖ If you notice any numbness in your arm after you go back home, please contact us.
- 帰宅後に、もし腕がしびれるようでしたら、すぐ御連絡ください。
- ❖ Don't worry if skin hemorrhage appears, since it will heal in a few days.
- 内出血しても数日で治りますので、ご心配いりません。
- ❖ I'm very sorry. Take care of yourself
- 本当に申し訳ありませんでした。お大事に。

【緊急時:AED 使用 Emergency:Application of AED】

- ❖ Let's try to use AED, as he is unconscious and pulseless.
- 意識がなく、脈が触れません。AED を使用しましょう。
- ❖ Can you continue heart massage? I will prepare the AED.
- 心臓マッサージを続けてくださいますか。私は AED をセットします。
- ❖ Back away, please.(Don't close him, please) Electric defibrillation might be given to him
- 電気が流れますので、離れてください

❖ 今回は、採血がうまくいかなかったときの会話です。失敗しました！とダイレクトに言わないほうが良いと思います。加えて、AED を使う状況を想定してみました。【小松京子】

JICA 臨床検査技術研修コース「カントリーレポート」終了！

2008 年度 JICA 臨床検査技術研修コースが開始されている。その講義には「日本臨床検査技師会および IFBLS の活動状況」が「カントリーレポート」として組まれている。その講義が、1 月 20 日(火)日臨技会館において行われた。

当日は、順天堂大学病院臨床検査部三澤成毅氏による「フォトサーベイ」に関する講義が行われ、それに続き、高田専務理事による“日臨技の活動状況”および小松 IFBLS 担当常務理事による“IFBLS 活動状況”が話された。今回参加した研修生は、アルバニア、フィジー、ホンジュラス、イラク、ケニア、マラウイ、パプアニューギニア、パラグアイ、サモア、ソロモン、スリランカの各国から 12 名である。殆どが大学生であるが、すでに小児科医として活躍されている方もいた。ディスカッションでは、各国における技師養成状況について話された。教育年数により検査技師のランク分けがされるという国もあるが、4 年ある



研修参加国



会長室にて

いは 5 年間教育が多いようである。また、日臨技の活動状況で、日本の医療関連職種<コ・メディカル>を紹介したが、医療職種が細分化されているのは日本特有なものらしく、研修生にとっては各職種の業務内容は理解しにくいものであろう。今後の研修は、帰国となる 3 月 27 日まで、大学病院を中心とした研修施設を回る予定である。このような各国の技師との情報交換は、今後の日臨技にとっても貴重なものとなるであろう。

【小松京子】

第3回 AAMLS 学会

登録受付開始!

2009 年 7 月 30 日~8 月 1 日に開催される第 3 回 AAMLS の学会登録ならびに抄録申し込み画面が web 上で可能となりました。多くの口演ならびにポスターの申し込みをお待ち申し上げます。ポスターセッションに関しては、ポスター展示会場に総合 discussion time を設け、自由にお話いただく予定です。英語に自信のない方は、ポスターセッションにて、国際交流を体験してください。

学生セッションも企画しております。学生さんや、教師の方々も是非ご参加ください。

特別講演には東大副学長 浅島誠先生、東芝病院研究部長 三代俊治先生にお願いしています。welcome party はクルージングを予定しております。多くの social イベントにもご期待下さい。

HPアドレス: <http://aamls.jamt.jp>